

◆集団的自衛権の行使と憲法解釈見直しを巡る野党4党のスタンス

集団的自衛権 憲法解釈
の行使 見直し 状況

民主党	△	×	3月に解釈見直しに慎重な党見解を決定。行使の是非を巡る議論を近く開始
日本維新の会	○	○	行使、解釈見直し、いずれも賛成する党見解を4月に決定
みんなの党	○	○	党見解を近く取りまとめる方針。行使、解釈見直し、いずれも賛成する方向
結いの党	△	△	党内で議論中。江田代表は解釈見直しについて慎重な立場

※ ○は賛成、×は慎重・反対、△は未定



民主党など野党4党の超党派議員連盟「外交・安全保障政策研究会」が9日、集団的自衛権行使を巡る憲法解釈見直しを目指す見解をまとめたことは、解釈見直しに慎重な民主・結いの党と調整を進める安倍内閣には追い風となりそうだ。

この日の総会には、民主党4人、日本維新の会13人、結いの党4人など計22人が

外交・安全保障政策研究会である長島昭久会長(中央)
(9日午前) 吉岡毅撮影

超党派議連「外交・安全保障政策研究会」が決定した集団的自衛権を巡る見解の要旨は次の通り。

【憲法解釈の見直し】

過去の政府答弁の積み重ねは、歴代政府が国内外の現実の政治的な要請に対し、そのつど憲法に解釈を加えることによつて折り合いを付けてきた証拠だ。我々が目指すべきは、憲法が現実の政治的要請と折り合える範囲を「再定義」するものだ。憲法解釈を変更する。

超党派議連「外交・安全保障政策研究会」が決定した集団的自衛権を巡る見解の要旨は次の通り。

【集団的自衛権行使の歯止め】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権行使の歯止め】

自衛権を必要最小限度の範囲

【自衛権発動の要件】

自衛権を必要最小限度の範囲

【自衛権発動の要件】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権の行使】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権の行使】

自衛権を必要最小限度の範囲

個別的、集団的自衛権の別を問わず、自衛権は合理的に必要な範囲内(必要最小限度の範囲内)で行使すべき。

【集団的自衛権行使の歯止め】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権行使の歯止め】

自衛権を必要最小限度の範囲

【自衛権発動の要件】

自衛権を必要最小限度の範囲

【自衛権発動の要件】

自衛権を必要最小限度の範囲

【自衛権発動の要件】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権の行使】

自衛権を必要最小限度の範囲

【集団的自衛権の行使】

自衛権を必要最小限度の範囲

集団的自衛権 野党議連見解の要旨 ▶本文記事2面

（4面）

正の侵害が『我が国の平和及び安全に重大な影響を与える』事態であることを発動要件とする。

超党派議連「外交・安全保障政策研究会」の総会出席者とメンバーは以下の通り。(敬称略、丸数字は当選回数)

【民主】▽衆院 渡辺周⑥、

松田学①以上出席。中山成彬

田嶋孝④、石関貴史③、坂元大

輔①、三宅博①、井上英幸①、

高橋美穂①、田沼隆志①、鈴木

望①、西田謙①、遠藤敬①、小

熊慎司①、丸山穂高①、伊東信

久①、坂本祐之輔①、村岡敏英

①、岩永裕貴①▽参院 東徹①

【結い】▽衆院 柿沢未途②、

青柳陽一郎①、林宙紀①、畠中

光成①以上出席。江田憲司④、

小池政就①、井坂信彦①、井出

庸生①以上出席。江田憲司④、

柴田巧①

【みんな】▽参院 江口克彦

①以上出席。松沢成文①

集団自衛権民・結に圧力 政府には追い風

野党議連「容認」

政府には追い風

出席した。

議連の見解決定は、政府の有識者会議「安全保障法的基盤の再構築に関する

懇談会(安保法制懇)

が来週、報告書を提出する直

前のタイミングで出され

た。議連幹部は、「政府と

う」と語る。

与野党の議論を加速させる

議連に参加する野党4党

効果を狙つた。結果的に、

のうち、維新の会とみんな

と述べた。野党議連見解の要旨4面

た。議論し、決まった

ことは守つもらいたい

と述べた。野党議連見解の要旨4面

◆超党派議連「外交・安全保障政策研究会」が決定した集団的自衛権を巡る見解のポイント

▽憲法が現実の政治的要請と折り合いをつけるため、憲法解釈を見直す

め、憲法解釈を見直す

△個別の、集団的の別を問わず、自衛権は合理的に必要な範囲内で行使すべきだ

△我が国の平和および安全に重大な影響を与える事

態か否かにより判断

△周辺事態やエネルギー輸入のためのシーレーンなどに限定

△安全保障基本法を制定して「歯止め」をかける

△周辺事態やエネルギー輸入のためのシーレーンなどに限定

△個別の、集団的の別を問わず、自衛権は合理的に必要な範囲内で行使すべきだ

△我が国の平和および安全に重大な影響を与える事

態か否かにより判断

△周辺事態やエネルギー輸入のためのシーレーンなどに限定

△個別の、集団的の別を問わず、自衛権は合理的に必要な範囲内で行使すべきだ

ているのに對し、民主党、結いの党の執行部は慎重な姿勢を取ってきた。今回、西党内でも解釈見直しを求める意見が公然と出たことで、両党執行部の今後の党見解の取りまとめに影響を及ぼすとみられる。

民主党の海江田代表は、「超党派の勉強会は妨げない。ただ、集団的自衛権問題は党の中で議論し、決まったことは守つもらいたい」と述べた。野党議連見解の要旨4面

日、国会内でも記者団に「超

党派の勉強会は妨げない。

ただ、集団的自衛権問題は

党の中でも解釈見直しを求める意見が公然と出たことで、両党執行部の今後の党見解の取りまとめに影響を及ぼすとみられる。

民主党の海江田代表は、「超

党派の勉強会は妨げない。

ただ、集団的自衛権問題は